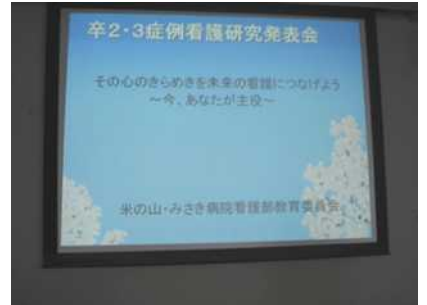


2008年度卒2・3症例研究発表会を開催

2009年1月31日、大牟田市エコサルクセンターで卒2・3症例研究発表会を開催しました。参加人数は、全部で65名（医師含む）でした。

今回は、「その心のきらめきを未来の看護につなげよう ～今、あなたが主役～」ということをテーマに発表する卒後2・3年目のひとりひとりが主役として1年間の成果をまとめて堂々と発表しました。



卒後2年目の目標は、「生活と労働の場から患者を捉える視点を養う」ということ、卒後3年目は、「科学的根拠に基づいた看護研究に取り組む」ということで年間の研修がスタートし、それぞれに講義を受け「症例とは何か」「研究とは何か」というところから学び、悩みながらもそれぞれがやり遂げました。

どれも「看護」の気づきや「患者の立場に立った」という民医連の根本に基づいた内容でした。

今回、初の取り組みとして塩塚洋一医師の発表がありました。看護にも分かりやすい内容でした。今回が第1報となっているので、機会があれば第2



報 第3報・・・とつづけていただけると幸いです。

アンケートの中に「看護の教育システムは丁寧ですばらしいです。症例や研究など専門的すぎないので他職種にも伝えればいいのかと思います。」「他職種の参加があれば良かった。」などの意見もありました。今後アンケート



結果を参考に来年度もその次の年もよりよい発表会を目指していきます。後継者は、確実に育っています。後継者育成という重要な役割を次の年代に伝えていければいいと思うような発表会でした。



分散会報告



閉会の挨拶